

怪談えほん原画展+

稲生モノケ録『ぼくはへいたろう』の世界展



絵：町田尚子「いるのいないの」原画2012年

2018年4月21日(土) — 6月3日(日) 休館日：月曜日(ただし4月30日は開館)

開館時間：9時—17時(入館は16時30分まで) 会場：刈谷市美術館1階第1展示室・特別展示室

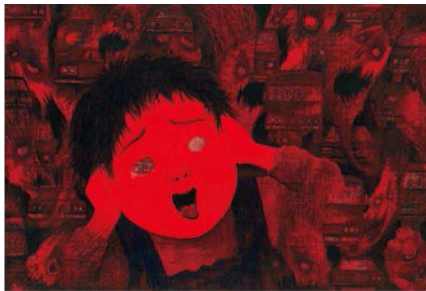
入場料＝一般900円(700円)、学生700円(500円)、中学生以下無料

*同時開催展と入場券は共通 * ()内は前売及び20名以上の団体料金 *前売券は、刈谷市美術館、刈谷駅前観光案内所、刈谷市総合文化センター、高浜市やきもの里かわら美術館、チケットぴあ(Pコード：768-878)の取扱いのあるコンビニ等で4月20日(金)まで販売 *身体障害者、精神障害者保健福祉、療育の各手帳所持者及び付き添いの方(1名)は入場無料。入館の際に手帳をご提示ください。

主催＝刈谷市美術館 特別協力＝岩崎書店 後援＝一般社団法人日本国際児童図書評議会(JBBY)、絵本学会、愛知県教育委員会

同時開催：世界を変える美しい本 インド・タラブックスの挑戦

刈谷市美術館
Kariya City Art Museum



絵：軽部武宏「ちょうつがい きいさい」原画 2012年



絵：大畑いくの「ゆうれいのまち」原画 2012年



絵：宇野亞喜良「マイマイとナイナイ」原画 2011年

日本を代表する怪談文芸や怪奇幻想文学のプロフェッショナルたちが書き下ろした文章に、当代実力派画家が絵を描きビジュアル化した絵本シリーズ、岩崎書店刊行の「怪談えほん」の原画展を開催します。人気作家5人と実力派画家5人がタッグを組んだ同シリーズは、子どものみならず、大人たちをも恐怖に陥れました。本展では、第I期にあたる、吉田尚令、宇野亞喜良、町田尚子、大畑いくの、軽部武宏が描いた原画をご紹介します。

また、同時開催として、刈谷市美術館コレクションの中から宇野亞喜良が3パターンで描き分けた『ぼくはへいたろう』の原画を集中展示します。江戸時代の《稲生物怪録》から、宇野にインスピレーションを与え、その制作の源となった稲垣足穂の著述等の世界観を比較展示し、ひとつの「怪談」物語をめぐる変容と享受のありようを見つめ、絵本制作の極意に迫ります。



絵：吉田尚令「悪い本」原画 2011年

関連イベント

学芸員によるギャラリー・トーク

日時：4月25日(水)、5月9日(水)、16日(水) 14時から30分間

*当日受付、参加無料

「えほんのじかん」こわい絵本

日時：5月3日(木) ①10時から30分間、②11時から30分間

会場：1階ロビー 協力：岡崎女子大学・短期大学の学生のみなさん

*当日受付、参加無料

母の日スペシャル 親子無料デー!

日時：5月12日(土)、13日(日)

中学生以下のお子様1名につき、保護者2名が無料で入場できます。イベントが盛りだくさん! 詳しくはHPをご覧ください。

ナイト☆ミュージアム

夜の真っ暗な美術館。懐中電灯を手がかりに、ドキドキしながら展覧会を探検します。見えなくても見えるかも。

日時：5月18日(金) 18時-19時

協力：岡崎女子大学・短期大学の学生のみなさん

*当日受付、参加無料

対談 宇野亞喜良さん×澤田精一さん(福音館書店元編集者)

「ぼくはへいたろう」をめぐる

宇野亞喜良さんと、福音館書店の「こどものとも」で初めて宇野さんに時代ものを依頼した元編集者・澤田精一さんに、「ぼくはへいたろう」をめぐる存分に語っていただきます。

日時：5月26日(土) 13時30分-15時

会場：刈谷市中央図書館3階大会議室 定員：190名(要整理券)

参加無料、整理券は12時から美術館1階で配布(先着順)

*対談終了後、参加者は入場券(当日以外の半券も可)の提示で美術館に再入場可(当日に限ります)



絵：町田尚子「いるのいないの」原画 2012年



「怪談絵巻」江戸時代 京都大学附属図書館蔵



「稲生武太夫と化物物語絵巻」江戸時代 梅花女子大学図書館蔵



絵：宇野亞喜良「ぼくはへいたろう」原画 1994年 刈谷市美術館蔵



刈谷市美術館 Kariya City Art Museum

〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4-5

tel.0566-23-1636/fax.0566-26-0511

http://www.city.kariya.lg.jp/museum/

電車：JR・名鉄三河線「刈谷駅」下車、南口から徒歩約10分

*「刈谷駅」はJR「名古屋駅」から快速で約20分

車：名古屋方面より国道23号線(知立バイパス)

「一ツ木IC」から約5km *駐車場あり(無料60台)